

<<風紋（上）>>

图书基本信息

书名：<<風紋（上）>>

13位ISBN编号：9784575505795

10位ISBN编号：457550579X

出版时间：1996/09

出版时间：双葉社

作者：乃南 アサ

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：<http://www.tushu007.com>

<<風紋(上)>>

内容概要

犯罪被害者に限定して言えば、事件の加害者となった人間以外は全て、被害者になってしまうのではないかと、私はそんなふうに考えている。

そして、その爆風とも言える影響が、果たしてどこまで広がるものか、どのように人の人生を狂わすものかを考えたかった。

乃南アサ

乃南アサの代表作といえば直木賞受賞の「凍える牙」なんでしょうけど、私としては、この「風紋」を挙げたいです。

内容は犯人探しではなくて、前半は心理ドラマ、後半は一部法廷推理になっています。

被害者高浜則子は46歳の主婦。

家族は夫と、二浪中の長女、高2の次女の4人家族。

そのどこにでもいそうな主婦が次女の父兄会に出席したあとに他殺体で発見される。

しかも犯人は長女の元担任。

そこから起ってくる残された家族の悲劇が中心に描かれています。

突然母親を奪われた一家、突然夫が逮捕された妻と子供。

「犯人意外のすべてが被害者」という作者の言葉が重く捉えられます。

被害者になる主婦が父兄会に出かけるまでの日常と、帰って来ない母を待つ次女の徐々に緊迫する感情。

その、不安に陥っていく過程で日常が変化していく対比が圧倒的で、一気に読ませます。

6年ぶりくらいの再読なんですが、当時は普通の主婦が殺される事件は、まだまだ珍しかったころ。

だからそれだけ衝撃的な内容だったんですね。

最近では主婦が被害者になる殺人事件も増えてますが、主婦の生活範囲が変わってるんでしょうか？

それとも人間関係が濃密になりやすいのか？

サラリーマンが職場の人間関係で悩んでも、めったなことでは殺人事件にはならないですね。

<<風紋（上）>>

作者简介

<<風紋（上）>>

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>